

審査評価項目

要件項目	評価項目
1. システム構築の目的	
① 本調達の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務を遂行するにあたり、提案者の取り組み姿勢を記述すること。 ・本業務を遂行するにあたり、次にあげる導入効果を得るためには、どのような点に留意し、どのような機能を備えどのように実現していくか、それぞれ記述すること。 ① 事務作業の効率化 ② 実効性のある個別避難計画作成 ③ 個別避難計画作成に係る優先度設定 ④ 発災時における避難支援組織との連携
2. 基本事項	
① スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・開発工程から運用保守工程まで本プロジェクト全体のスケジュールについて、現時点で記述可能なレベルで具体的な作業項目単位でのスケジュール案を記述すること。 ・クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理の上で重要となるポイントや時期について記述すること。 ・契約締結後の3か月程度について、本市との協議日程や協議テーマを一覧で記述すること。
② 開発体制	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月の新システムの本稼働までのシステム開発体制（業務グループごとの構成・担当者の配置状況）について図示すること。また、要員の役割を明示したうえで、その考え方、根拠等の説明を記述すること。 ・上記体制図に記載したメンバーの経歴（資格、経歴・実績、得意分野、経験年数）、専任/兼任の別を記述すること。 ・開発工程、運用保守工程における成果物を具体的に記述すること。
3. 業務要件	
① パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージソフトウェアの概要、機能、特徴、適用範囲、適用方法および推奨理由のすべてについて記述すること。 ・システムの全体像をイメージ図、アプリケーション構成図等を用いて記述し、システムにおける開発内容や構築範囲を明確にすること。 また、想定される課題、問題点がある場合について、提案システムでの解決方法・実現方法を記述すること。
② 他システム連携	<ul style="list-style-type: none"> ・調達仕様書に記載した他システムとのデータ連携対応の考え方について、具体的な実現方法を分かりやすく記述すること。
③ データ移行	<ul style="list-style-type: none"> ・調達仕様書に記載した基本方針（データ抽出）に関して、より確実な方法があれば具体的に記述すること。 ・本システム再構築にかかるデータ調査、初期データ移行、本番移行（業務移行・システム移行・データ移行）の進め方および課題とその解決策をサブシステム単位に記述すること。 ・現行システムでの不足項目に対する補正作業および未登録文字の追加対応に関する考え方などを記述すること。 ・貴社と本市の役割分担を記述すること。 ・調達仕様書に記載した内容を実施することを条件としているが、より市にとって有利となる移行方法等の提案があれば具体的に記述すること。 ・データ移行に関する制約事項があれば、その内容および理由を記述すること。
④ セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ要件に関する貴社の基本的な考え方、方針を記述すること。 （個人情報取扱い、システムにおけるユーザID・パスワードの設定機能についての記載を含む） ・それ以外で本システム構築に際し、実装するのが望ましいセキュリティ機能については積極的な提案を求める。
4. インフラ要件	
① システム構成（ハードウェア、ソフトウェア）	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書に示すインフラ要件（共通基盤システム、サーバ統合化基盤、既存インフラ環境）を踏まえ、パッケージシステムを安定稼働させるために必要なシステム構成を提案すること。 ・本調達仕様書に示す要件等を踏まえ、パッケージの運用に必要なハードウェア、ソフトウェアについて提案すること。 ・提案するハードウェア、ソフトウェアの導入実績、選定理由等について記述すること。
② サーバ構成及びスペック	<ul style="list-style-type: none"> ・仮想化基盤上で構築するサーバの構成図として、仮想サーバ台数、必要リソース（CPU、メモリ、ディスク）、負荷分散機能、冗長機能等の台数、スペック、構成を示すこと。 ・仮想サーバ台数、必要リソース（CPU、メモリ、ディスク）については、原則として、調達仕様書（資料11 宝塚市サーバ統合化基盤活用方針別紙_リソース見積表）で示す、サーバ統合化基盤の本システム用割り当て領域に収まる構成を提案すること。
5. 開発要件	
① 開発方針・開発工程	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト管理運営に関する貴社の考え方について記述すること。 ・開発に際しての貴社と本市の役割分担を工程別に記述すること。 ・貴社が想定している開発工程毎の作業場所に関して記述すること。 ・採用する開発方法論や開発ツールについて明示し、採用理由を記述すること。
② 進捗管理および品質管理	<ul style="list-style-type: none"> ・各工程における進捗管理の考え方、定量的な管理方法を記述すること。 ・各工程における終了基準の考え方、具体的な終了基準を記述すること。 ・品質管理に関して、貴社の考え方、実施方法、定量的な評価方法、具体的な目標等を記述すること。 ・作業遅延やテスト段階での大幅な手戻りなど、工程管理上の遅延が発生した場合の考え方について具体的に記述すること。
6. 運用保守業務	
① 運用保守業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書の運用保守要件を理解し、貴社が考える運用保守の業務内容を記述すること。 ・システム利用者全体に与える障害が発生した場合を例に挙げ、障害発生時の対応方針、対応体制について記述すること。 ・本調達仕様書の内容と異なる場合は、変更点を明確にすると共に、その考え方等の提案の理由を明確に記述すること。 ・運用保守業務におけるコスト削減手法について提案すること（ただし、サービス水準を保つことを前提とする）
② 運用保守業務の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書の運用保守要件を理解し、運用保守に際しての貴社と本市、運用担当者の役割分担を記述すること。 ・稼働開始直後のサポート内容（数日間本市で常駐対応など）を記述すること。
7. その他付帯業務	
① 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達範囲における研修に関して、貴社の考え方、具体的な実施内容、貴社と本市の役割分担について記述すること。 また、想定する研修スケジュールも記述すること
② マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達範囲におけるマニュアル作成に関して、マニュアルの種類ごとに貴社の考え方、具体的な実施内容、貴社と本市の役割分担について記述すること。
8. 追加提案	
① 追加提案	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の調達において、特別に提案する機能や要件があれば提案すること。